

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	キッズハウスのぞみ立山					公表日	2025年 3月 3日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点						
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・ 個別の空間を必要とする児童にはパーテーションを利用して仕切っている ・ 児童が過ごす空間を分けることをスタッフ同士声を掛け合って意識している	・ パーテーションの安定性確保					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・ 児童に寄り添った支援を行うために、現在はマンツーマンでの支援を実施している	・ 送迎スタッフの確保なども検討していく					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・ その日の活動内容や予定を確認できるよう提示している。						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・ 毎日消毒と清掃を行っている ・ 必要に応じて部屋を分けて過ごしている						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・ 部屋数は限られているができる限り対応している ・ 個別に配慮する児童が多い						
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○								
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ 評価表の意見を把握して対応に努めている ・ モニタリング時にも要望等を確認して改善に努めている	・ 今後もモニタリングや送迎時などを活用して、保護者の意見を把握していく					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ スタッフから出た意見を検討しながら素早い反映を心掛けている	・ その後の進捗状況などの確認も行っていく					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・ 第三者評価は受けていない						
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・ 月に1度スタッフ全体会を行い、各月社内研修やケース検討を行っている	・ 今後も継続していき、法定研修等をスタッフが役割を担っていく仕組みを作る					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ 今年度HPIに支援プログラムの公表を行った						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○								
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・ 各児童担当が児童発達支援管理責任者の指導のもと個別支援計画の作成に関わり、事業所内支援者会議を行っている	・ 今後も継続して行っていく為に、支援者会議を計画的に設定していく					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・ 事業所内支援者会議で共有を行っている						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・ のぞみシートの「生活」「運動」「学習」の3分野で独自のアセスメントを作って活用している	・ より専門的なアセスメントや観察の視点を持つために、スタッフのスキルアップが必要					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ 今年度より全児童の支援内容に5領域を盛り込んだ計画を作成している。 ・ 「家族支援」や「移行支援」に関しては家族の意向や年齢などに合わせて設定している						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・ 困ったときは相談するようにしている	・ プログラム立案の悩みをミーティングで話し合いながらチームで解決していく					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・ 5領域に結び付けたプログラムと、子どもたちが飽きない活動になるよう工夫している						

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝のミーティングで前日の振り返りや当日の動きなどを確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・その日のうちに解決すべきことがあれば時間を設けているが、基本的には翌日のミーティング時間を活用している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・ケア記録を記入している	・簡潔に要点をしぼって記録するために、スタッフのスキルを上げていく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・通園している保育所に支援プログラムとケア記録の共有を行っている ・適宜保育所へ出向き、情報共有を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・必要に応じて他事業所のスタッフとの意見交換を行った	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		・今後保育所との交流も検討していく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時やサービス提供記録等で情報共有を行っている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・必要と判断したご家庭には相談員さんへの情報共有や参加できそうな研修の情報提供を行っている	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明を行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・面談やサービス等利用計画に基づいて作成している	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・計画を説明しながら同意を得ている		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・児童発達支援の同じ年の保護者を対象に保護者会を行い情報交換をした	・保護者ニーズもあるので、計画的に回数を増やしていきたい ・保護者対象の外部講師を呼んだ研修会も企画したい
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルは策定されているが、保護者への周知力が弱い	・Googleドライブなどを利用して、保護者も閲覧できるようにしたい
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・年に数回、活動プログラムに避難訓練を取り入れて実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・食事は摂っていないが、おやつを食べることがあるので保護者と情報共有を行う	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を策定してある	・定期的に見直しを行いたい
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全計画を策定してある	・Googleドライブなどを利用して、保護者も閲覧できるようにしたい
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・月に1度スタッフ全体会で各事業所のヒヤリハット報告会を行っている	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・事業所内で虐待防止の研修を行っている		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			・該当する方の登録が今後あるときは、慎重かつ丁寧に対応していきます	